

美世志会と共にJR東労組を守り抜いてくれた仲間の皆さんへ

2020年1月、水戸・東京・八王子地本の一部役員によるJR東労組の組織破壊を目的にした分裂策動が明らかになりました。この一部役員たちは、18春闘以降も本部方針の逸脱を繰り返し、組合員の皆さんに真実を伝えず、自己保身を覆い隠すためウソ・ゴマカシによって組合員の皆さんを欺いてきました。

2002年11月1日に発生した「えん罪・JR浦和電車区事件」により、突然不当逮捕された私たち美世志会は、動揺し、涙し、くじけそうになりながらも、JR東労組全組合員・連帯するすべての仲間と共にたたかい、JR総連・JR東労組を守り抜くことができました。

これらの闘いに対して、東京地本・宮澤元委員長は「美世志会のためにやってやった」と発言し、中央本部・吉川元委員長は「美世志会はグニャグニャになった」と発言、また、これらに追随する者たちから「美世志会は御用組合にいった」と発言するなど、私たち美世志会のみならず、反弹圧のたたかいを共に担いJR東労組を守り抜いてきたすべての仲間のたたかいを否定しているのです。

一方、17年を経過した今日までも美世志会を支えてくれる多くの仲間が職場にいることは一生の宝物であり、現在でも大きな勇気をいただいています。

全組合員の皆さん！

分裂組織を企てる者たちは、第三者機関への提訴を目的化し、中央本部や美世志会へ矢印を向け、罵詈雑言を投げかけています。

「たたかっているポーズ」を取るだけの彼らの扇動に惑わされてはなりません。

18春闘がそうであったように、ウソとゴマカシで組合員の皆さんの真意を踏まえずに誤った方向へ導いたことを反省せず、今回の分裂策動も「たたかうポーズ」で皆さんを騙しているのです。

美世志会は、私たちが懲戒解雇にした会社に与することは断じてありません。また、これまで反弹圧のたたかいを主体的に担っていただいた組合員の皆さんを一時たりとも忘れたことはありません。

分裂となれば、JR東労組組合員の減少につながり、JR東労組の運営や賛助団体にも影響を及ぼすことになり、私たち美世志会の雇用問題にも直結してしまいます。

分裂組織は、異論を言う者を弾圧し、「指導部」に従えばいいという宗教のような組織になることは、18春闘以降の動向を見れば一目瞭然です。

今こそ、組合民主主義のかけらもない先鋭的な分裂組織への勧誘に乗ってはいけません！

全組合員の皆さん！

私たち美世志会が、長期拘留で肉体的にも精神的にも苦しんでいたときに、共にたたかい、励ましてくれたのは会社でも御用組合でもなく、JR総連・JR東労組の仲間たちでした。仲間が苦しんでいるときに手をさしのべてくれる、人間として温かみのある組織がJR総連・JR東労組なのです。

組合民主主義を捨て去り、職場の仲間の声に耳を傾けることなく、自分たちのやりたいことだけをゴリ押しする者たちに未来はありません。この分裂策動に見切りをつけ、勇気を持ってJR東労組再建に立ち上がる時です！

分裂組織への誘いを断り、新生JR東労組運動を推し進めるために共に頑張りましょう！！

2020年1月23日

美世志会